

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

| | | | | |
|----------------------------|--|--|----|---|
| 学校番号・学校名 | 〈小・ 7〉 | いわき市立 郷ヶ丘 小学校 | | |
| 〈実施日〉 | 平成 28年 7月 7日 (木) | | | |
| 〈実践教科等〉 | ※当てはまる番号に○を付けてください。4は () に教科等を入れてください。 | | | |
| | 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 () | | | |
| 〈実践内容〉 | 1 題材名「放射線から身を守るためには？」 2 本時のねらい ○ 放射線から身を守るための適切な行動を考えることができる。 3 学習の流れ | | | |
| | 段階 | 学 習 活 動 | 時間 | ○指導上の留意点 ◇評価 【資料】 |
| | 導 入 | 1 放射線とは何かを振り返る。 | 3 | ○ 2年生までに放射線について学習したことを振り返らせ、放射線について確認する。 ○ 放射線から身を守るために、自分は何ができるかを投げかけ、本時のめあてとしてとらえさせる。 |
| | | 2 本時のめあてをとらえる。 放射線から身を守るためにできることを考えよう。 | 2 | |
| | 展 開 | 3 放射線から身を守るための方法について話し合う。 (1) 体の外から受ける放射線の量を少なくする方法について ○ 放射性物質から離れる。 ○ 放射線を受ける時間を短くする。 ○ コンクリートなどの建物の中に入る。 (2) 体の中から放射線を受けることから、身を守る方法について ○ 空気を直接吸い込まない。 (マスク、うがい手洗い) ○ 制限された食べ物や飲み物はとらない。 | 20 | ○ 放射線の影響は、体外からと体内からとがあることを知らせ、それを防ぐためにはそれぞれにどんな方法が考えられるかを投げかける。 ○ 児童の考えを、日常生活と非常時とに分けて押さえるようにする。 ○ 児童から考えが出された後で、資料とワークシートを使用して、「放射線から身を守る方法」や「放射性物質から身を守る方法」を書き込み方式で整理させる。 【放射線について考えてみよう：県パンフレット】 【小学生のための放射線副読本：文科省】 |
| | | 4 事故が起きた時の心構えを知る。 ① 正確な情報に基づいて行動する。 ② 退避や避難をする時の注意点を知る。 | 10 | |
| | 終 末 | 5 放射線から身を守るために実行することや心構えをまとめる。 ○ 日常生活では ○ 非常時の場合は | 10 | ○ まとめたことを全員で復唱することで、意識づけをする。 ◇放射線から身を守る方法や心構えを知り実践しようとする意欲を持つことができたか。 |
| 〈成果〉 | ○ 児童は放射線の人体への影響や、放射線を出しているものについての理解が不十分だったため、導入の段階で振り返らせたことが自分で身を守るための方法を考えるのに効果的であった。 ○ 資料「放射線について考えてみよう」県パンフレットを活用したことで、児童から出された考えを、整理してまとめることができ、さらに、ワークシートに書き込む活動により意識付けができた。 | | | |
| 〈課題〉 | ● 資料やワークシートの効果的な活用を工夫する。 ● 外部講師を活用して、より専門的で児童の興味や関心を高められる活動を積極的に取り入れていくようにする。 | | | |
| 資料作成担当者職 (教諭) 氏名 (濱津 恭治) | 学校電話番号 (81-1341) | | | |

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先：kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)